

## 平成 25 年度 第 5 回救急セミナー開催報告（第三支部開催）

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会  
 学術委員 中根 淳

平成 25 年 7 月 13 日に、埼玉医科大学総合医療センターで第 5 回救急セミナーが開催された。セミナーの参加人数は 18 人であった。今回は、第三支部開催としたため、支部会員の方に多く参加していただいた。内容および講師は以下の通りである。

### 1. ミニアンを用いた BLS 講習

講師 上尾中央総合病院 岡村 聡志 佐々木 健 中山 勝雅 吉野 和広 矢島 慧介  
 埼玉医科大学総合医療センター 大根田 純

今回、ミニアンを参加者 1 人に 1 体用意し、参加者 3 人に 1 人インストラクターを配置することで、質の高い BLS を習得していただいた。講師の方と参加者が一体となって、セミナーを進行することができ、参加者の方には、明日から使える知識を持って帰っていただけたのではないかと考えている。参加者からは、セミナー前後で BLS に対する意識が変わったという意見を多数いただいたため、今後もこのようなセミナーを企画していきたい。

最後になりますが、講師の皆さま、埼玉県診療放射線技師会第三支部役員の皆さま、およびセミナーに参加していただいた会員の皆さまにこの場をお借りして、心よりお礼申し上げます。



## 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー —平成 25 年度（第 15 回）SART セミナー—

総務委員会 常務理事  
田中 宏

平成 25 年 6 月 16 日、さいたま赤十字病院で、公益社団法人日本診療放射線技師会、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会合同主催にてフレッシュセミナーが開催されました。

参加者は 52 名で、本セミナーは技師会活動のアピールと新人教育を目的としたセミナーで、未入会者を対象としていますが、診療放射線技師であればだれでも受講できます。

プログラム内容は以下の通りです。

- |                       |       |
|-----------------------|-------|
| 1. 技師会について（認定制度）      | 田中 宏  |
| 2. 社会人としてのエチケット・マナー講座 | 中根 淳  |
| 3. 患者さんに優しい診療放射線技師    | 岡田 智子 |
| 4. 医療安全講座             | 佐々木 健 |
| 5. 感染対策講座             | 佐々木 健 |
| 6. 気管支解剖講座            | 富田 博信 |
| 7. 症例検討会              |       |
| 乳房                    | 越沼 沙織 |
| CT・肺                  | 城處 洋輔 |
| 消化器                   | 今出 克利 |



## フレッシューズセミナーを終えて

上尾中央総合病院  
高橋 侑希



社会人になり2カ月、少しずつ仕事にも慣れてきましたが、分からないことがまだまだたくさんあり、試行錯誤しながら毎日仕事をしています。少しでもスキルアップし、業務に貢献したいと思い公益社団法人埼玉県診療放射線技師会平成25年度フレッシューズセミナーに参加しました。

まず社会人としてのエチケット・マナーでは電話応対などの敬語の使い方からタクシーや会議室の席次など、自分の知らないことまで教えていただきました。冷静に考えれば正しい敬語やマナーは分かるはずなのに、いざそういった場面に遭遇するとできないことが多いので、今回教わったことを少しでも意識して、きちんと社会人らしい対応ができるように心がけていきたいと思います。

医療安全講座では、横浜市立大学病院での患者の取り違え事故の話聞き、些細な確認不足や思い込みが重大な事故につながることを学びました。この事故では、主に看護師による確認不足によって起きた事例でしたが、診療放射線技師でも起こりえる事故なので、普段の業務でもしっかりと本人確認を行っていかなくてはならないと重々感じました。また感染対策講座では、手指衛生が感染経路を断つ上でとても重要な役割を果たしているということを再度確認することができました。そして講演の中で、実際に正しい手洗いの方法を実践したことで身に付けることができ、業務の中で行うことができるようになりました。

症例検討会では、マンモグラフィ、CT（肺野病変）、消化器それぞれについて読影や診断の仕方を教えていただきました。読影や診断を行うには、解剖や定義、分類などをしっかり理解することが必要であることを学びました。私は現在マンモグラフィを担当していますが、良い写真を撮るだけでなく、きちんと病変を見分けて読影ができないと追加撮影の有無の判断などもできないので、少しずつでも読影の力を身に付けていきたいと思います。

気管支解剖講座では身体を使って気管支を覚える気管支体操を教わりました。胸部CTの画像を診断する上で、肺内の腫瘍に栄養を送る血管や、その腫瘍が存在する肺の区域を考える必要があります。それらを同定するのは難しいですが、今回の講習で習った気管支体操を利用した場合、右葉に分岐する10区域と左葉に分岐する8区域をおおまかに理解することができ、それぞれに走行している気管支と並行している肺動脈の走行が理解しやすくなりました。富田さんのお話は面白くてとても場が和み、身体を使って覚えることで苦手意識があった気管支がとてもよく分かりました。

まだ初めて行う仕事や不慣れな仕事ばかりですが、フレッシューズセミナーに参加したことによって不安が少しなくなり、社会人として、また診療放射線技師として大切なことをたくさん教えていただき、とても有意義な時間が過ごせました。学んだことを日々の業務に生かしていき、先輩方のような一人前の診療放射線技師を目指していきたいと思います。